

平成19年10月

嘉悦泰博 学位論文審査要旨

主 査 井 藤 久 雄
副主査 重 政 千 秋
同 久 留 一 郎

主論文

Role of cysteinyl leukotrienes in the proliferation and the migration of murine vascular smooth muscle cells *in vivo* and *in vitro*

(マウス血管平滑筋細胞増殖・遊走の*in vivo*、*in vitro*におけるシステイニルロイコトリエンの役割)

(著者：嘉悦泰博、山本康孝、杉原志伸、松浦 隆、井川 剛、松原剛一、井川 修、重政千秋、久留一郎)

平成19年 Cardiovascular Research 掲載予定

審査結果の要旨

本研究はマウス大腿動脈ワイヤー傷害モデルを用いて、システイニルロイコトリエンの血管平滑筋細胞増殖・遊走との関連を検討したものである。その結果、*in vivo*、*in vitro*の実験系において、システイニルロイコトリエンが血管平滑筋細胞に発現しているシステイニルロイコトリエンレセプターを介して、血管平滑筋細胞増殖・遊走に関与している可能性が示唆された。本論文の内容は、血管平滑筋細胞増殖・遊走という動脈硬化形成の重要なプロセスにシステイニルロイコトリエンが関与していることを示し、そのレセプターアンタゴニストによる動脈硬化抑制への臨床応用の可能性を示唆するものであり、明らかに循環器学の学術水準を高めたものと認める。